

審議会等の会議結果報告

1 会議名	津市ケーブルテレビ放送番組審議会
2 開催日時	令和6年8月20日（火） 午後2時から午後3時まで
3 開催場所	津市本庁舎 4階庁議室
4 出席した者の氏名	（津市ケーブルテレビ放送番組審議会委員） 樋口潤、榮沢吉紘、木原剛弘、小林清人、小林小代子、高尾明、武川明広、堀川正代 （事務局） 政策財務部次長 長井誠、広報課長 石田淳美、広報課 藤原亜沙子、広報課 青木純也、広報課 東川清加
5 内容	1 津市ケーブルテレビ放送番組審議会 (1) 令和5年度、令和6年度の放送内容について (2) 番組視聴・質疑応答 (3) その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	なし
8 担当	政策財務部 広報課 電話番号 059-229-3111 E-mail 229-3111@city.tsu.lg.jp

津市ケーブルテレビ放送番組審議会

議事録

日時：令和6年8月20日（火）

午後2時00分～午後3時00分

場所：市本庁舎4階庁議室

津市政策財務部広報課

石田課長	これより、「津市ケーブルテレビ放送番組審議会」を開催させていただきます。 本日の審議会には、委員 8 名の皆さまにご出席をいただいております、過半数を超えておりますので、津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例第 6 条第 2 項の規定により会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。 本審議会につきましては、津市情報公開条例第 2 3 条の規定に基づき、公開審議としております。 また、審議会の議事の概要につきましては、放送法施行規則第 4 条の規定に基づき、出席されました各委員の皆さまの氏名と議題、審議の概要・状況などを津市ホームページの審議会等の会議の結果で公表いたしますので、ご了承くださいますようお願い致します。 本審議会につきましては、放送法で放送番組の適正を図るため設置が義務付けられており、津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例により設置されております。 本審議会の役割は、津市長が本審議会に番組基準および番組の編成に関する基本計画を定めたり、変更したりする場合などに諮問し、その諮問に対し答申を行うほか、放送番組の適正化を図るための意見をのべることとなっております。 それではここで、本日出席の職員を紹介させていただきます。 政策財務部次長の長井でございます。
長井次長	長井でございます。よろしくお願いいたします。
石田課長	広報課調整・広報担当主幹藤原でございます。
藤原主幹	藤原と申します。よろしくお願いいたします。
石田課長	広報課広報担当の青木でございます。
青木	青木と申します。よろしくお願いいたします。

石田課長	広報課広報担当の東川でございます。
東川	東川でございます。よろしくお願いいたします。
石田課長	最後に改めまして、 広報課長の石田でございます。よろしくお願いいたします。
石田課長	【会長及び副会長の選出】 それでは、まず、事項書の 2-(1) 会長及び副会長の選出をお願いしたいと存じます。 津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例第 5 条により、「審議会に会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選により定める」とされておりますが、いかがでしょうか？
武川委員	事務局案があれば、お示しいただきたいと思います。
石田課長	ありがとうございます。 それでは、事務局案といたしましては、会長を樋口委員に、副会長を小林小代子委員をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか？ （「異議なし」の声あり）
石田課長	ありがとうございます。 それでは、会長に樋口委員、副会長に小林小代子委員にてお願いしたいと思います。 樋口委員、小林委員は、会長席、副会長席へご移動をお願いいたします。 ～樋口委員・小林委員 移動～
石田課長	ここからは津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例第 6 条第 1 項の規定によりまして、樋口会長に議事進行をお願いしたいと思います。 樋口会長、よろしくお願いいたします。

樋口会長	津市ケーブルテレビ放送番組審議会会長に選出いただきました樋口でございます。 どうぞ、よろしくお願いいたします。 本日は、当審議会の進行に当たり、委員の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。 また、審議内容につきましては、録音をさせていただくとともに、事務局において要旨をまとめ、公開させていただくことになりますので、併せてよろしくお願いいたします。 それでは、事項書に沿って進めてまいります。 事項書の2－(2)、「令和5年度、6年度の放送内容」について、事務局より説明願います。
東川	【令和5年度、令和6年度の放送内容について】 はい。事項書の2－(2)令和5年度、6年度の放送内容についてご説明させていただきます。 はじめに、令和5年8月に開催いたしました前回の審議会から、先月7月までに放送しました内容について、ご説明いたします。 今回の審議会より、新たにご就任いただいた委員の方もいらっしゃいますので、津市行政チャンネル概要なども含めてご説明させていただきます。 津市の行政チャンネルのメイン番組は、津市行政情報番組「まるっと津ガイド」で、2時間番組として放送しています。 放送は、株式会社ZTVの放送網を使用し、デジタル123チャンネルにて行っております。 また、ZTVにご加入されていない方などにも番組をご覧いただけるように、津市公式Y o u T u b eチャンネルでも公開しています。 行政チャンネルの視聴方法については、お手元にあります資料をご覧ください。 「まるっと津ガイド」は、2時間番組で、月2回、1日と16日に番組を更新させていただいております。 番組内容は、お配りしている資料の行政情報番組「まるっと津ガイド」タイムテーブルを参考にご覧ください。

東川	1日更新では、地域の様子を紹介する「まちのできごと」や、市長が出演し、市政について語る「テレビ版市長コラム」。 市の施策などを担当課の職員が紹介する「市政ガイド」。月2回行われている「市長定例記者会見」を中心にお送りしています。 16日更新では、「まちのできごと」や「市長定例記者会見」に加えて、偶数月には、健康情報などをお送りする「健康づくりタイム」。奇数月には、三重大学医学部附属病院の医師による、心と体の健康について紹介する「元気のツボ！」。 そして、津市の放課後児童クラブの活動の様子を紹介する「探検☆学童クラブ」といったレギュラーコーナーで構成されています。 また、住民登録数や市税などの納期月をお伝えするミニ情報や、広報紙の表紙写真のエピソードを紹介するワンシーンのコーナーなども盛り込んでお送りしています。 メイン番組「まるっと津ガイド」を含む、1日の番組表についてですが、資料にあります、津市行政情報番組 番組表をタイムテーブルとあわせてご覧ください。 1日3回放送している「プラザ津」は、音楽や民謡などの舞台発表を完全収録し、2時間番組として放送をしています。 「まるっと津ガイド」・「プラザ津」以外の「ハッシュタグ＃つ」や「いつでもカンタン！ストレッチ」は、特別番組として制作している番組で、「まるっと津ガイド」の2時間の枠の中に編成し、放送を行っています。 特別番組は、その年ごとに内容などを検討し、制作しているもので、令和5年度には、特別番組3本を制作いたしました。 3本の内2本は、津市在住で三重県を撮る写真家ふがまるちゃんとして活動する、多田 良平さんに出演していただき制作した番組「ハッシュタグ＃つ ふがまるちゃんと巡る津の写真旅」です。 魅力的なスポットを知り尽くした、ふがまるちゃんのナビゲートで津市の四季を巡りながら、撮影テクニックなども紹介しています。 令和5年度には、秋編と冬編を制作し、今年度には、すでに春編が完成し放送を行っています。現在、夏編の制作を進めていて、10月の放送開始を予定しています。 このあとの番組視聴では、春編をご覧いただきたいと思いま
----	--

東川	す。 そしてもう一本は、健康づくり課の保健師が動きを解説しながらカンタンなストレッチを紹介する「いつでもカンタン！ストレッチ」です。おうちにいる時に、何かをしながらでもできる、ながら運動なども盛り込み、健康促進の一つとして制作しました。 また、前回の番組審議会で「探検☆学童クラブ」の番組の中で、ナレーションを担当している児童についても紹介してはどうか。とのご意見をいただきましたので、現在は、顔写真と名前のテロップを必要箇所に挿入する形で、制作させていただいております。 貴重なご意見ありがとうございました。 その他、詳しい放送内容や回数については、お手元にご覧いただけます「令和５年度、６年度の津市ケーブルテレビ放送番組一覧」をご覧ください。 以上が、前回、令和５年８月に開催いたしました審議会から今年の７月までの主な放送内容でございます。
樋口会長	ありがとうございました。 それでは、つづいて事項書の２-(3)、「番組視聴」に移ります。事務局より説明願います。
東川	【番組視聴】 はい。それでは、先ほど放送内容の中でご説明いたしました番組をご視聴いただきます。今回は、今年度に放送したまちのできごと１本と、特別番組「ハッシュタグ＃つ ふがまるちゃんと巡る津の写真旅～春編～」を順番にご視聴いただきます。 まずは、まちのできごとです。８月１６日から放送をしています「体操・杉野正堯選手パブリックビューイング」をご覧くださいと思います。 パリオリンピックの体操男子・団体では、津市出身の杉野正堯選手が金メダルを獲得しました。 メダルをかけた団体決勝が行われた、７月３０日火曜日にサンヒルズ安濃のハーモニーホールでパブリックビューイングが行われ、歓喜に沸いた会場の様子取材しました。撮影では、競技の様子は放映権の関係で映すことができませんでしたが、金メダ

東川	ルの獲得を喜ぶ姿にあふれています。それでは、ご覧ください。 ～まちのできごと視聴 3分18秒～ ・体操・杉野正堯選手パブリックビューイング
樋口会長	はい。ご視聴頂きました「まちのできごと」について、ご意見やご質問がありましたら、よろしくお願いします。
木原委員	競技しているところが、映せない中で、大変よく編集されていると思いました。 杉野選手が津市とどういう関わりがあるのかなど、プロフィールの紹介があってもいいと思いました。津市出身だということなので、そのあたりに詳しく触れてもよかったのではないのでしょうか。また後半、同級生がインタビューに答えていましたが、同級生ということを紹介したほうが、よりコメントが分かりやすいのではないかと感じました。
樋口会長	ほかは、いかがですか？
武川委員	番組の制作の仕方とは、あまり関係ないかもしれませんが、画面の前の方の席が結構空いていたのがすごく気になりました。ここでも言っても仕方がないことですが、いかに人が集まって応援したかということを伝える番組だと思うので、撮る側も大変だったと思います。 バルーンを叩いてみんなが応援している熱の入りようが伝わってきたことは、よかったと思います。
樋口会長	ありがとうございます。そのほかはよろしいですか？ はい。それでは、続きまして、特別番組について、事務局から説明をお願いします。
東川	はい。特別番組については、その年の象徴的な取り組みや出来事を紹介したり、津市のPRができる番組の制作を行っています。今からご覧いただく、「ハッシュタグ＃つふがまるちゃんと巡る津の写真旅」は、令和5年度から制作、放送をした番組です。番組については、企画を津市で行い、株式会社ZTVに制作を

東川	委託しています。 この番組では、三重県内のさまざまなスポットで撮影を行っているふがまるちゃんに、アドバイスをいただきながら、春夏秋冬に分けて津市の魅力的なスポットを巡る番組です。ふがまるちゃん一押しの目線で切り取った風景は独特で、紹介した場所に行ってみたい。見てみたい。と思っていただけたりと、地域の良さを再発見してもらえればという思いで制作しています。こちらの番組は15分あるのですが、今回は、時間の都合上、短く編集した内容にてご覧いただきたいと思います。 ～「ハッシュタグ＃つ」視聴 10分18秒～ ・ふがまるちゃんと巡る津の写真旅～春編～
樋口会長	はい。ご視聴頂きました「ハッシュタグ＃つ ふがまるちゃんと巡る津の写真旅～春編～」について、ご意見やご質問ありましたら、よろしくお願いします。
小林副会長	ふがまるちゃんが、津市の魅力を発信していただくということですが、もっと身近な所にも来ていただいて、発信していただくと、より津市の良さが皆さんにわかるのではと思いました。 すごく感動させてもらいました。ありがとうございます。
小林（清）委員	私も、写真が趣味で、美杉の方へ行っては、毎年写真を撮っているのですが、美杉の良さはよく知っているのですが、写真の撮り方を伝えながら、さりげなく有名な場所を紹介していくという、とても発想のいい番組だなと思いました。 海の方にも津市の名所はたくさんあるし、この番組がシリーズで続いていくといいなと思いながら見ていました。 私もまた、番組を見て紹介された場所へ写真を撮りにいきたいと思いました。
石田課長	ありがとうございます。 今回の「ハッシュタグ＃つ」については、昨年度に秋編・冬編、を制作させていただき、今年度は、春編・夏編を制作しておりま

	す。 番組は、昨年度からスタートしたので、その年の秋の風景を撮影したものを編集して、冬頃に秋編を放送しているというような形になりましたが、来年度以降は、「旬の場所へ、是非訪れてみて下さい。」という意味で、季節を先取りする形で放送していければと思っております。 また今後は、行政情報番組の中でも繰り返し放送させていただきますし、公式Y o u T u b e では、常に見ていただけるようにしてありますので、季節に合わせてご覧いただいて、できましたら、その後、撮影の地へ行っていただけるとありがたいと思っております。
長井次長	行政では、少し前までは、観光地などきれいな画像を撮ってきて流すということをよくやってたと思うのですが、今回のような写真の撮り方を紹介しながら津市を巡るというのが意外に面白いのではと思っていましたので、そこを評価していただいてありがたいなと思いました。 先ほどご挨拶させていただいたときに、お渡しした名刺の裏もふがまるちゃんの写真を採用しています。行政や観光協会さんでは、ふがまるちゃんの写真を自由に使わせていただいており、非常に良い関係性を構築できています。
樋口会長	観光協会にも関わりがあるので、ふがまるちゃんの話は、知っていて写真も見ることがあったんですが、やはり、こうやって映像で見ると、写真の良さはもちろんですが、人柄が映るというか、それも伝えられているというのが、動画の強みだと思います。ふがまるちゃんのような地元の方を番組に起用して、観光もPRするという点が、とても良かったと思いますので、「ハッシュタグ#つ」ぜひ、次回もそれ以降も期待しています。
武川委員	観光協会でもふがまるちゃんとコラボしてまして、これまでは、写真で紹介して、「ぜひ来てください。」というアピールの仕方だったのですが、今は、撮る側の方にもアプローチをして、津のスポットで撮影したものをご自身のSNSにアップしていただいています。アップされた写真などが拡散されていくという効果を期待しているので、この番組の意図もそういうところにある

武川委員	と感じました。 また、4月に観光協会のホームページをリニューアルしました。ページの下の方にある、Instagramのマークをクリックすると観光協会のInstagramにリンクし、見ていただけるのですが、このSNSはふがまるちゃんと共同投稿しています。観光協会のメンバーが投稿したのと、ふがまるちゃんが投稿した写真とでは、圧倒的なクオリティの差があって、ふがまるちゃんから色々と撮影の技術を学ばせていただこうと思っています。 皆さんのご意見にもありましたけれど、映像が持つ力って本当に大きいと思うので、これからもこういった番組を続けてください。本当にいい番組だと思います。ありがとうございます。
樋口会長	ありがとうございます。
木原委員	実際に「ハッシュタグ＃つ」としての投稿は、増えたのでしょうか？そのあたりも追いかけてもらえたらいいと思いました。 ふがまるちゃんは、すごく写真が上手で、番組では、いい一眼レフで撮影されているので、「撮りに行ってほしい。」という動機付けとなると、少しハードルが高いのかもしれないなと思いました。番組の中では、スマホでの撮影の方法も紹介していましたが、もう少しスマホの比重を増やした方がよりうけるかなという気がします。 初年度なので、春編を夏に、秋編を冬に放送していたということでしたが、これからは、事前に放送した方がいいと思います。その方が、動機付けになると思いますし、「ハッシュタグ＃つ」を付けて投稿してもらいやすくなるのではと思います。今後番組が出来上がっていくと事前に放送することができるというお話でしたので期待しています。 また、ふがまるちゃんが撮った写真を提供してもらっているのであれば、「この時期に、このアングルで撮ると、こんな写真が撮影できます。」といった紹介を入れるなど工夫されると、より良くなるのかなと思います。
堀川委員	番組を初めて見たのですが、すごくいいなと思いました。私自身、津市に40年くらいいるんですけど、紹介されていた場所は、どこも行ったことがありません。

堀川委員	季節ごとの映像ができれば、放送の時期を合わせていただけたらと思います。 また、スマホでの撮り方を教えているのは、よかったと思います。立派なカメラじゃなくても、私のスマホで撮れるんだと思って勉強になりました。
高尾委員	テレビは、津市のいろんな情報発信していく一つのツールだと思いますが、どれぐらいがケーブルテレビに加入しているんですか？
東川	7月31日現在のZTVの加入率で、52.2%となっています。 加入率が1番高いのは、美杉町のエリアで99.6%の方がご加入いただいております。ZTVにご加入いただけないと行政チャンネルを見ることはできませんので、より多くの方にご加入いただきたいんですが、そこは、ZTVの企業努力で加入率をあげていただくところです。放送している番組は、行政の情報を発信している番組ですので、加入してない方にもご覧いただけるように、公式YouTubeでも配信をして、誰でも、いつでも、どこでも見ていただけるような環境を整えています。
高尾委員	私の知る限りでは、白山町も90%ぐらいではないかと思いますが、その他のエリアでは、増えているんでしょうか？
長井次長	ケーブルテレビを行政で持っていた一志、白山、美杉に関しては、一志町で71.7%、白山町では、83.0%で、美杉町で99.6%と山間地域については、まだ引き続き高い加入率となっています。ちなみに津のエリアでは、52.6%、久居で44.1%、河芸町で41.3%となっていて、以前に比べると少し減少しています。 ZTVは、民間の事業者ですので、津市として「ZTVに加入してください。」ということは、なかなか言えないんですが、ZTV独自の努力で光ケーブルを全市域に伸ばしたりもされておりますので、すごい勢いで加入率が減少しているというようなことはないようです。

高尾委員	年齢の高い地域では、まだまだケーブルテレビが見られていると思います。しかし若い世代では、テレビ離れが進んでいると感じるところもあります。地域の違いで視聴率なども変わってくると思いますので、年齢の高い人たちにも見ていただけるような番組づくりを行ってってください。
樋口会長	では最後に、事務局から説明がありますので、お願いします。
東川	委員の皆さま、励みになる貴重なご意見いただきまして、ありがとうございました。 「ハッシュタグ＃つ」については、お配りしている資料にＱＲコード掲載しています。お手持ちのスマートフォンから読み込んでいただくとＹｏｕＴｕｂｅをご覧いただけるようになってますので、またお時間のある時にご覧ください。 最後になりますが、津市行政チャンネルでは、今後も行政情報やまちのできごとに加えて、生活に役立つ情報などを分かりやすくお届けできるよう制作してまいります。 今年は、年明けに能登半島地震が発生し、大きな被害がありました。また、８月には宮崎県沖の日向灘を震源地とする地震が発生し、初めて南海トラフ地震臨時情報が出されました。 今年度制作する特別番組として、防災に関連した番組の制作について企画を進めていましたが、こういった状況を踏まえ、どのような構成にするのかを再検討し、市民の安全・安心につながる番組の充実も図ってまいります。 また、行政チャンネルや津市公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルなどの広報にも注力し、一人でも多くの方の目に触れていただけるよう、創意工夫を行いながら、番組作りを行っていきたいと思いますので引き続きよろしくお願い致します。
樋口会長	ありがとうございました。 それでは、つづいて事項書の２-(4)、「質疑応答」に移ります。 これまで事務局から説明がありましたが、説明以外の番組内容、番組制作の考え方や行政チャンネルを見ていて疑問に思ったことなど、些細な事でも結構ですので、ご質問やご意見などありましたら、よろしくお願いします。

樋口会長	番組制作の課題として、どうやって、どう届けていくかというのがあると思うのですが、SNSやYouTubeなど視聴方法は、多岐にわたる時代になってきてて、非常に手をこまねいてしまうこともあるのかなと思います。高齢者にとっては、このケーブルテレビは、大事な情報源でもあると思いますので、高齢者に向けての情報は、適切に、正確に届けていただきたいと思います。 また、20代、30代は、必要な情報だけが欲しいという世代になってきていて、必要なもの以外は、必要としないという傾向があると感じています。私は、ポッドキャストで必要な情報を聞いているんですが、今の時代は、情報があふれているので、「待ち」よりも「攻め」みたいな発信が必要になってきていると思います。 ホームページにしても、広報紙のような紙媒体にしても、いろんな場面で情報の露出というのは、必要になってきていると思います。 番組を作る側、その情報を配信する側、観光協会などいろんなところと連携して、津市は、こういう街だということをチームでやってみるのはいかがでしょうか？議会の質疑や津の花火大会などいい番組を放送していらっしゃるので、私自身意識してケーブルテレビを見るようになりました。もっと多くの人が、行政が発信する情報に関心を持ってもらえるようになればと思います。 また、ふがまるちゃんの番組を見ていて「こういう人なんだな。」というのが知ることができたのと一緒に、例えば、職員がテレビに出て、「こんな番組を作ってます。」のような内容を発信をするなどして、ファンを増やすことができたらいいいのかなとも思います。 あと、ポッドキャストでは、ヤング日経っていうのがあって、20代、30代前半の方が気になる情報を載せているものなのですが、普通の日経は、ヤング日経より年齢層の高い人向けの情報となっていて、対象とする世代を分けています。 要するに、対象を一般や高齢者、若年層と情報を分けて発信する仕組みがあるので、そういったところからヒントを得て、どんどん吸い上げていくというのもいいなと思います。 そのほかに、県外のJCで、防災アプリを作るというのを聞きました。防災と聞くと、難しく考えてしまうのでゲームにしたらどうか、ということでスタートして、実際に9月くらいにアプリ
------	---

樋口会長	になるそうなんです。 そういった発想の中で、例えば、10代のターゲット層に向けて、情報発信力を強めたいのであれば、10代の大学生さんにどういった番組にするかを一緒に考えてもらうのも一つではないでしょうか。 さきほどのアプリで言えば、そもそもの発想は、小学生がアプリでゲームにしたらどうか？という話から始まったそうで、アプリを作る大人がいて、実際に夏休みに避難所を訪れたりして、避難所には何が置いてあるかなどを子どもと一緒に調べて、それをストーリー化していく、そんな流れで制作されていったそうなんです。若い人たちを巻き込むことで、我々では思いつかないようなヒントが生まれることもあるので、そういうのも一つの方法ではないかと思いました。
小林（清）委員	私の周りで、昼間仕事をして帰って、夕方の時間にテレビを見ている人に話を聞くと、ほとんどの人がNHKの「まるっとみえ」を見てるそうなんです。 実際に、私も見ていて「市長がこんなことやってるんだ。」とか、「津でこんなことがあったんだ。」という情報は、どうしてもNHKから得ています。現に、NHKを見ているという人が周りに多いのですが、その辺はどう考えていますか？
石田課長	ケーブルテレビでは、月2回更新で番組を放送していて、NHKではタイムリーに放送をされているので、内容に大きな違いがあります。 情報の取り上げ方についてですが、市政記者クラブという報道社各社からなるクラブがあり、NHKや民放各局、もちろんZTVや各新聞社が加入していて、津市でのイベントや出来事などについて、さまざまな資料提供をして、取材依頼という形での情報発信を日に何本かさせていただいています。 それを各マスコミ側がニュースになると判断した内容について取り上げていただいています。 少しでも津市の情報を多く取り上げていただけるよう、決まりきった行政のわかりにくい話ではなく、できるだけわかりやすい情報にして、取材していただきやすい形の資料が提供できるよう、広報課と担当課とで調整しています。

長井次長	NHKにケーブルテレビの行政情報番組が勝つというのは、なかなか難しい話になりますが、NHKと津市の行政情報番組の違いは、行政情報番組は、繰り返し放送をすることで、なるべく多くの方に見ていただけるような機会を提供しているという点です。 先ほど高尾委員からもご意見をいただきましたが、我々の視聴者は、ご高齢の方が多くいらっしゃいます。行政情報番組は、2時間の番組なのでずっと見るというより、流している中の1部ずつかもしれないが、そうやって見ていただけるっていうのが、津市のケーブルテレビの強みと考えています。 しかし、若い世代の方々に2時間見てほしい、公式Y o u T u b eで配信しているからと見てください。というのは、厳しいところもあり、そのあたりをジレンマとして持ってます。 ケーブルテレビは、ケーブルテレビとしての特性を活かして、幅広いターゲットの中で、若い人も見ていただける番組や高齢者のことを意識した番組なども考えていきたいと思います。 また、ほかに広報紙もホームページもあります。津市では、今SNSが弱いんですけども、これについても、やっていかないといけないなと思っています。 若い人には、長い時間見ていただくというのは、本当に難しいと思うので、短い内容でお伝えできるようなものがないと思っています。忙しい子育て世代の方たちに向けては、子育ての情報をプッシュ型で送るといったことも必要かなと思います。 ポッドキャストの話もありましたが、おそらく、あまり行政で使われていないのですが、正直それを使ってる方が特定の年代だったりするので、まだすこし早すぎるのかもしれませんが、では、何がいいのか？ということで、他市を見ると、やはりL I N Eの活用が多いのが現状です。今、多くの人がL I N Eを活用していて、中には、家族との連絡用にL I N Eを使っていたりして、ユーザーは増えているそうなので、行政がL I N Eを活用して情報発信をする。必要な情報をプッシュ型でお知らせするというのが他市では、進んでいます。まずは、友達になっていただかないといけないんですが、そういうような行政が増えてきているので、津市でも、L I N Eに関する研究をしています。 いろんなメディアを活用して、行政の情報をお伝えする、暮らしの情報を市民の方にお伝えするというのは、これは行政の非常
------	--

長井次長	に大事な役割でありますし、それを担っておるのが広報課です。幅広い年代であったりとか、世代や状況に応じて相応しいメディアを選んで、何か一つにこだわるのではなく、いろいろな展開をしていきたいと、今日いただいたご意見を聞き、感じたところでございます。 ありがとうございました。
樋口会長	ほかにもう質問はよろしかったですか？ ご質問がないようですので、事項書の3 その他ということで、事務局から何かございましたらどうぞ。
長井次長	【長井次長あいさつ】 本日は、本当にお忙しい中、長時間にわたりまして、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。 本日いただきました、ご意見を踏まえまして、引き続き、良い番組づくりに努めてまいりたいと思いますし、お話の中で褒めていただいたことは、携わっております職員の励みになると思いますのでしっかりと頑張らせていただきたいと思います。 先ほどの、繰り返しになるんですけれども、私たち広報課、広報に関わる者は、必要な情報、皆さんの暮らしの情報、市民の生活に必要な情報というのを行政として、しっかりお伝えしていく立場にあります。発信するメディアをどうするかなど、市役所全体をリードして、情報提供に努めてまいりたいと思いますので、お気付きの点がございましたら、この番組審議会場でなくても結構ですので、広報課の方にご連絡を頂戴して、忌憚のないご意見いただけたらなと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
樋口会長	ありがとうございました。 その他、よろしいでしょうか？ それでは、本日の審議事項については、全て終了いたしました。委員の皆さまには、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。 これをもちまして津市ケーブルテレビ放送番組審議会を終了

	いたします。 どうもありがとうございました。 審議会終了
--	---